

最近北韓情勢와 南北關係展望

관용
리과)

目 次

1. 最近 北韓情勢	1
가. 政治動向	1
나. 社会動向	3
다. 經濟實態	5
라. 對外動向	11
2. 南北關係 展望	15
가. 北傀의 對南戰略	15
나. 南北關係 變遷과 背景	16
다. 最近動向 및 對話 展望	21

1. 最近 北韓情勢

가. 政治動向

高位權力層 動向

黨・政序列 變化

1976年度：老幹部 大挙 退陣
(崔庸健, 南日, 金一, 崔賢, 洪元吉 等)

1977年度：

- 党内序列 流動的
(老幹部 不滿, 金正一 擁立運動 繼續, 南北對話 主導 勢力 弱化 等)
- 政務院內 經濟部門 機能 強化
(副總理 任命：李鍾玉, 桂成泰 等)

- 金日成 權力體制 動搖 全無
 - 權力構造의 內面的 葛藤
- 金正一 繼承體制 維持
 - 黨事業 全般指導의 革命的 體制強化 予想

偶像化와 族閥統治 現況

金日成 偶像化
方向

- 伝說的 英雄으로 造作：
抗日鬪士，8.15 解放者，6.25 勝戰者
- 思想家，理論家로 浮刻：
마르크스·레닌의 眞正한 繼承者
(모든 辭典，年鑑 等을 金日成 為主로 編輯)
- 家系로 擴大：
祖父母，父母，叔父，弟，子들의 生日，忌日 等 紀念
行事 舉行
(金亨權忌日追慕 - 1 月)

族閥統治

- 党，軍，政權機關，秘密警察，司法，立法，監查機關，
平壤市党，社会团体，女盟 等 全權 掌握

住民統制 및 勞力動員의 極大化

<p>所謂 “學 習” 運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金日成思想教養運動 加熱 - 金日成偶像化冊子 發刊：9,000 余種 - 學習期間 延長 및 正規化 (1日 2時間에서 3時間으로) - 學習內容의 多樣化 (旅行者 問答學習, 忠誠의 3,100 問題, 노래부르기運動 等)
<p>統制強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産活動 統制 - 3大革命小組員 配置 (金正一系) ○ 行政的 統制 - 国家政治保衛部 및 国家檢閱委 復活 - 이에따른 人事強化 - 檢察, 治安關係 責任者 更迭 (12.25) (檢察 : 李鎮洙, 社会安全部 : 최원익)
<p>勞動力動 員 極大 化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年少者, 婦女層 等 總動員 ○ 動員을 위한 “매스·미디어” 를 強化 - 中央放送內 特別報道部 - 芸術活動을 통한 啓蒙·煽動 ○ 自然改造事業 2個月內 短期完成 (金日成 生日까지 目標) - 自然改造 突擊隊, 忠誠獻起모임, 이삭줍기運動 等

社会的 矛盾 除去 努力

“矛盾”事例

- 公式的 으로 指摘되는 “矛盾”
 - 官僚主義, 形式主義, 保身主義 腐敗 等 社会風潮 批判
- 住民의 消極的, 被動的 生活態度 非難

生活 苦

- 生活必需品の 極甚한 不足現象
 - 食糧, 副食品 (특히 소금), 타올, 学用品, 藥品, 電力 等
- 勞賃滯払 (3 個月間), 食糧配給 中斷事例 頻繁
- 增産, 節約運動의 反復展開 (新年辭)
 - 農産物 增産 最大 強調
 - 浪費防止 思想戰 展開
 - 廢品回收運動 展開

다. 經濟實態 (6 個年計劃 成果를 中心으로)

農業分野		
區 分	北 韓 (7 5 年)	韓 国 (7 6 年)
穀物生産 (薯類除外)	精穀 341 萬屯 (北傀알곡 770 萬屯 主張) (495.4 萬屯) 註 1	精穀 753.5 萬屯
機械化	트랙타保有 7 ~ 8 萬台	耕耘機 保有 12.8 萬台
化學化	町步当 200 kg (成分含量)	町步当 395 kg (成分含量)
水利化	밭灌溉化 10 萬町步 (目標 30 萬町步)	水利安全畚率 88 % → 112.4 萬町步 (76 年 目標)



- 73 年以後 外貨不足에 依한 쌀 飢餓輸出 強行
 - 71 ~ 76 年 總輸出 205.5 萬屯 (쌀, 옥수수)
 - 71 ~ 76 年 總輸入 330.4 萬屯 (小麦, 小麦粉)
- 76 年以來 食糧不足事態 極甚 (73 年以後 配給量 減少)
 - 事務員 및 輕勞動者 700 g → 600 g
 - 重勞動者 800 g → 700 g
- 階層別 混食比率 差等 (쌀對 雜穀)
 - 党幹部 8 : 2
 - 特殊機關員, 軍人 5 : 5
 - 勞動者, 學生, 扶養家族 3 : 7

註 1) : 中央情報部 評價值

工業分野		
区分	北 韓 (7 5 年)	韓 国 (7 6 年)
鋼鐵生産 能力	329 萬屯 (344.8 萬屯, 76年)註2)	453 萬屯
化学肥料生産	50 萬屯(成分含量)	88 萬屯(75年,成分含量)
시멘트生産	683 萬屯(能力) (625 萬屯, 76年)註3)	1,277.5 萬屯
自動車(트럭, 乗用車, 추력)	12,000 台	36,000 台(75年)
精油処理能力	4.5 萬BPSPD	43.5 萬BPSPD(75年)
織物生産	4.7 億m	15.7 億m(75年)



- 6 個年計劃期間中 重化学工業部門 建設에 注力
- 一 輕工業部門 実績 発表 回避
- 一 鋼鐵, 圧延鋼材, 시멘트 等 目標 未達 是認
- 機械工業을 除外한 全分野에서 目標 未達로 評價
- 外債問題로 因한 大規模 工場의 建設陸跌이 計劃未達の 主要因

註2) : 中央情報部 評価値(76年末 現在)

註3) : 中央情報部 評価値(76年末 現在 生産量)

社会間接資本

区 分	北 韓 (7 5 年)	韓 国 (7 5 年)
発電施設容量	430 萬 Kw (464.6 萬 Kw , 76 年) ^{註 4)}	48.1 萬 Kw (76 年)
鉄道延長	4,292 km	5,631 km
高速道路	100 km	1,142 km
道路舗装率	2.9 %	19.6 %



- 社会間接資本 部分이 北韓經濟發展의 最大 隘路部門으로 評價
- 金日成 77 年 新年辭에서 指摘 (電力 및 輸送分野)
- 鉄道敷設, 電鉄化, 高速化道路 建設実績은 当初計劃의 50 % 未滿

註 4) 中央情報部 評価値 (76 年末 現在)

对外貿易

(单位：百萬弗)

区 分		1973	1974	1975
貿易總額		1,084.3	1,653.5	1,453.0
輸 入		702.1	1,150.0	930.3
輸 出		382.2	503.5	521.7
貿易収支		△ 319.9	△ 646.5	△ 409.6
共 産 圏	貿易總額	614.0	470.3	663.9
	輸 入	370.5	331.6	355.5
	輸 出	243.5	138.7	308.4
非 共 産 圏	貿易總額	470.3	1,035.7	789.1
	輸 入	331.6	813.3	575.6
	輸 出	138.7	222.4	213.5



- 75年 現在 輸出規模 韓国の 10% 水準 (韓国 50億弗)
- 持続的인 貿易赤字 示顯
 - 6個年計劃 推進을 위한 对西方 輸入増大
 - 輸出大種인 鉍石, 金屬製品 生産 및 供給不振
- 76年度 以後 貿易赤字 幅 縮少
 - 西方諸国の 对北傀 信用去来 回避

外債規模

- 76年末 現在 21億7,000萬弗に 推定
- 对西方 延滞：6億弗 水準

年 度	区 分	施 設 材 導 入	延 滞
1971		4,000萬弗	80萬弗
1972		3億2,580萬弗	190萬弗
1973		3億7,080萬弗	7,180萬弗
1974		5億2,520萬弗	1億6,820萬弗
1975		1億7,740萬弗	2億5,290萬弗
1976		2,910萬弗	6億弗水準(对西方)

- 对日延滞 2年間 支払 延期 合意(76.12)
- 西欧 債権国と 支払延期 交渉 推進(77.1)

○ 新規 借款導入 交渉 現況

(75.1 - 76.12)

対 象 国	最 初 交 渉 日	規 模	形 態
蘇 聯	75年初	5 - 7 億 弗	財政援助 (未詳)
中 共	75. 4	1.5 - 3 億 弗	" ()
이 란	75. 3	2 億 弗	輸出 先受金 (失敗)
英 国	76.12	0.5 - 1 億 弗	鉦産物 担保 金融借款 (失敗)
아 일 랜 드	75. 6	1 億 弗	金融 借款 (失敗)
쿠 웨 이 트	75. 7	1 億 弗	民間 起債 (失敗)

라. 对外動向

最近 外交活動의 特徵																
76년까지의 外交活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度別 使節團 交換 															
	國家 / 使節團															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度 区分</th> <th>73</th> <th>74</th> <th>75</th> <th>76</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接受</td> <td>70/283</td> <td>67/300</td> <td>73/274</td> <td>77/224</td> </tr> <tr> <td>派遣</td> <td>89/366</td> <td>88/316</td> <td>102/205</td> <td>94/227</td> </tr> </tbody> </table>	年度 区分	73	74	75	76	接受	70/283	67/300	73/274	77/224	派遣	89/366	88/316	102/205	94/227
年度 区分	73	74	75	76												
接受	70/283	67/300	73/274	77/224												
派遣	89/366	88/316	102/205	94/227												
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 國際會議 參加 : 25回 <ul style="list-style-type: none"> - 非同盟 頂上會議, 西歐 共產黨大會, 유엔傘下機構 總會 ○ 年末 特異動向 <ul style="list-style-type: none"> - "유네스코" 常設代表部 設置 (11.17) - "프랑스" 共產黨代表 招請 (11.6) 															

77年 外交

活動

○ 中東阿地域 訪問外交 展開

— 19個 代表團 25個國 訪問(1月末現在)

(國家/使節團)

75年	76年	77年
12/7	19/17	25/19

○ 行政実務陣 巡廻 訪問

— 朴成哲(政務院総理), 蘇聯, 이라크, 中共,

파키스탄 等(1.15 ~ 26)

— 許淡(副総理兼外交部長): 토고, 베닌, 中央아프

리카, 中共, 나이지리아, 세네갈 等 訪問(1.10—
2.8)

— 鄭準基(副総理): 수단, 埃及, 시리아, 南예멘,

쿠웨이트 等 訪問(1.13 ~ 2.1)

— 吳振宇(人民武力部長): 파키스탄 訪問(1.28—2.5)

— 李昌善(文化芸術部長): 우간다, 탄자니아 訪問

(1.21 — 2.1)

○ 金日成 新年辭—對美平和條約 締結 強調

对 蘇 關 係

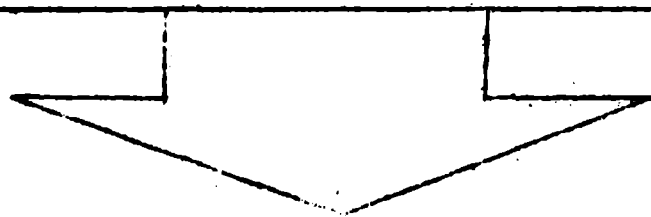
- 对蘇友好態度 接近努力 試図
 - 十月革命 50 周年 記念集会(平壤 開催)
 - " 브레즈네프 " 70 回 生日祝賀行事
(金日成 祝電, 1 級 国旗勳章 授与)
 - 朴成哲 訪蘇, 首脳級会談(1.24 ~ 27)

- 蘇聯側, 北傀・中共關係 牽制 積極化 措置로서
 - 蘇聯의 对北傀 經濟援助 成果 強調
 - 蘇聯貿易代表團 平壤 到着(77.2.2)

- 不可侵協定 提議에 对한 反應:
 - 間接的으로 완곡한 反对
 - 北傀의 政治協商會議에 对한 支持
(蘇聯聯盟 中央評議會 名儀)

对中共關係

- 中共의 새 指導層에 對한 適應努力
 - 駐中大使 玄준極 交替 (1.24 離任)
- 中共의 北傀 支持의 熱意度는 未定이나 定例的인 支持는 繼續中
- 不可侵協定 提議에 對한 反應 : 強硬한 非難
 - 北傀의 政治協商會議 提議 全幅 支持
(人民日報 社說, 提議 全文 掲載)



- 对蘇立場 :
従來의 寒冷한 關係로부터 必要上 对蘇 依存傾向 增加 趨勢
- 对中共立場 :
中共 支配層 不安定으로 従來와 같은 政治的, 物質的 支援은 未確定

2. 南北關係 展望

가. 北傀의 對南戰略

對南戰略目標	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3大革命力量 強化를 통한 赤化統一 — 基本目標 不變, 情勢變化에 便乘한 多角的戰術 適用
戰 術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 對外活動 → 韓國 孤立化, 美軍撤収 — U N 票對決, 對美平和協定 ○ 南北對話 → 對話態度 硬化 (7.6.8.31 直通電話 斷絕) ○ 海外僑胞 → 反韓統一戰線 構築 國際的으로 試圖 (朝總聯系同胞 母國訪問事業으로 弱화되었음) ○ 對南工作 → 量的 減少, 內容 激烈, 工作手段 多樣化

4. 南北關係 變遷斗 背景

1) 韓・日正常化 反对時期 (1961-65) (5.16 - 韓・日正常化)		
北 傀 主 張	韓 国 提 議	南 北 關 係 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓日會談 反对， 南北合作交流，对南 經濟援助 (64.3.27 最高人民會議) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共產主義斗 对決實力 培養 (61.5.16 革命 公約) ○ U N 監視下 土着人口 比例 南北自由總選舉 (64.11.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6.3 事態 ○ 人民革命黨事件 (64.8.14)

2) 武力挑発 激化期 (1966 - 70)

- 関係国 会議
召集 (66.7.21 U N
備忘録)
- 聯邦制 実施, 外軍
撤収, 南北平和協定
減軍 (69.10.8
U N 備忘録)

- U N 監視下 総選挙
(66.10.8 U N 総会
統韓覚書)

- 1.21 青瓦台 襲撃
(68.1.21)
- " 푸에블로 " 号 拉致
(68.1.23)
- 統革党事件
(68.8.26)
- 蔚珍, 三陟地区 浸透
(68.10.30)
- EC-121機 被撃
(69.4.15)

3) 南北對話期(1970 ~ 73)

(8.15 宣言 - 8.28 金英柱聲明)

○ 平和統一

8 個項 提議

(71.4.12 · 許淡)

○ 8.15 平和統一

構想 宣言

(70.8.15

朴大統領)

○ 南北赤十字會談

提議 (71.8.12 赤

十字總裁)

○ 7.4 南北共同聲明

(72.7.4)

○ 統率黨 呼聲 放送 實施

(70.6.1)

南北對話 進行 經過

南 北 調 節 委	南 北 赤 十 字 會 談
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 共同委員長會議：3回 調節委，本會議：3回 幹事會議：2回 副委員長會議：10回 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 派遣員 接觸：5回 ◦ 予備會談：25回 ◦ 予備會談 實務會議：16回 ◦ 本會談：7回 ◦ 代表會議：7回 ◦ 實務會議：21回
<p>總回数：18回</p>	<p>總回数：81回</p> <p>* 22次 實務會議(77.4.28 開催 予定)</p>



兩側主張

韓 國	北 韓
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 調節委員會 拡大 改編 ◦ 不可侵協定 締結 ◦ 相互誹謗 及 對南挑発 行為 中止 ◦ 社會開放 提議 ◦ 無條件 對話 正常化 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 6.23 宣言 撤回 ◦ 反共法 保安法等 撤廢 ◦ 大民族會議 開催 主張 ◦ 對美平和協定 締結 ◦ 政治協商會議 開催

4) 南北對話 沈滯期(1973 - 現)

- 金英柱 声明以後 -

<ul style="list-style-type: none">◦ 对美平和協定 提議 (74.3.25)◦ 南北政治協商會議 (77.1.25 양형섭)	<ul style="list-style-type: none">◦ 南北不可侵協定 締結 提議(74.1.8. 朴大統領)◦ 不可侵協定 締結時 駐韓美軍 撤収 食 糧援助 提議 (77.1.12 朴大統 領)	<ul style="list-style-type: none">◦ 朴大統領 令婦人 被襲(74.8.15)◦ 땅굴構築 発見 (74.11.15)◦ 板門店 도끼 蛮行 (76.8.18)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

다. 最近動向 및 對話展望

1) "金日成 新年辭" 發表를 中心으로

情勢評價	<ul style="list-style-type: none"> ○ " 당장 戰爭이 터질 수 있는 危機一發의 事態 "
經濟計劃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緩衝期的 延長 - " 一部 經濟部門 緊張性 解決 " - 輸送, 採取 工業部門 積極 推進 - 消費品 生産의 質的 改善 - 農業 戰線 強化 (全 群衆的 自然 改造)
軍事問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ " 革命的 警覺性斗 動員態勢 堅持 " ○ 戰鬪準備斗 戰鬪力 強化
思想革命	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 大革命의 繼續 展開 ○ 黨斗 大衆의 統一團結
對外關係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社會主義 國家, 第 3 世界 國家斗 連帶強化 ○ 對美平和協定 誘導
對南煽動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南·北人民, 海外同胞의 民族的 大團結 共同鬪爭

2) 对南關係

<p>心理戰 強化 (7 6 年)</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 对南非難 煽動放送 激增 (前年比 80 %)○ 不穩伝单 撒布 数的 減少 (内容의 激烈化)
<p>人物交替</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 南北對話 主導人物의 後退 (김중린, 柳章植 等)○ 党 对南事業担当에 強硬派 登用 (金正一)

3) 南北對話 展望

- 北傀 對南戰略은 큰 變化없을 것으로 予想
 - 所謂 革命基地 鞏固化를 위한 經濟力 提高
 - 對南工作과 挑發 繼續 強化
 - 所謂 國際 革命力量 強化를 위한 國際社會內 親北傀輿論 造成
 - 中·蘇關係 積極的 利用 企圖 할것이나 對美 直接交涉을 前提로 會談이 必要할 경우 偽裝對話 試圖 可能性

- 我側立場
 - 国力 伸張 加速化로 南·北格差 擴大 및 北傀 制壓
 - 南·北對話 再開 促求 反撥으로 平和統一政策 浮刻
 - 北傀의 對話誘導를 위한 國際的 壓力 加重